

よこつかこふん

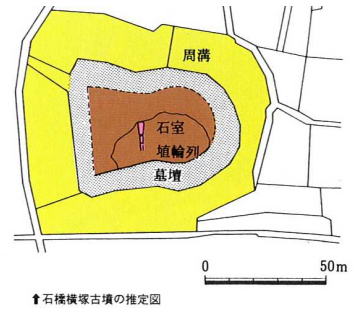
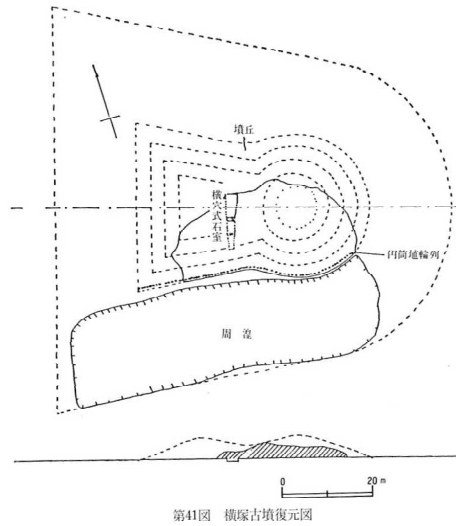
# 名前：横塚古墳

所在地：下野市下古山（石橋地内）  
旧石橋中学校の校庭にあった

時代：古墳後期（6世紀後半）

形：前方後円墳

大きさ：全長約52m



出土品：円筒埴輪・・・朝顔形円筒埴輪などの円筒埴輪列が墳丘裾部にあったと思われる

形象埴輪・・・人物・鞍（矢を入れる道具）

・太刀・弓・馬

武器・武具・・・直刀・刀子・鉄族

挂甲小札（よろいかぶとの部品）

馬具・・・鞍の磯金具（皮ひもを止める部品）

・雲珠（おまんじゅうのような形のかざり）

須恵器・・・高坏・甕

金環（金のイヤリング）・銀環（銀のイヤリング）・銅環（銅製のイヤリング）・金銅製

刀装具（金ぴか製のかざり）など



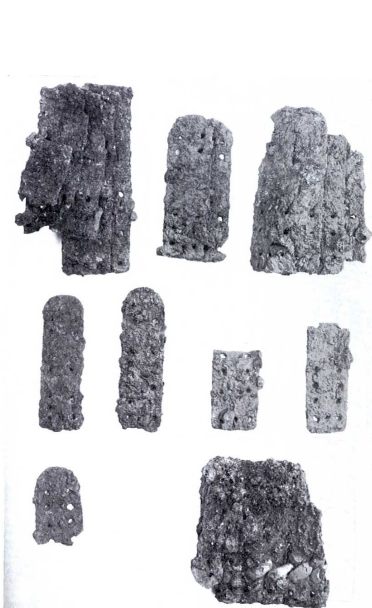
↑石橋横塚古墳出土の須恵器（無蓋高坏）

その他：墳丘・石室等は現存しておらず、わずかに旧石橋中学校の校庭の隅に石室奥壁とされる大谷石が残るのみ。

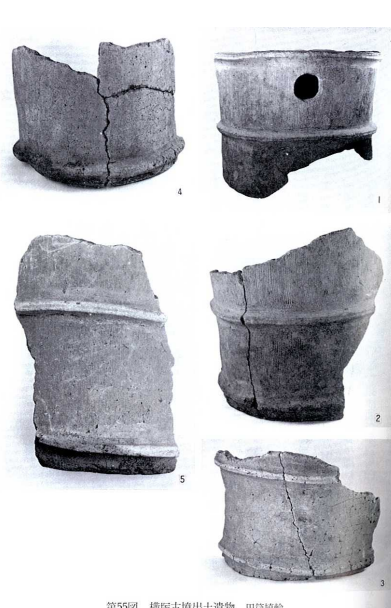
記録によると、石室は横穴式石室で側壁には河原石を積み、天井には凝灰岩が使われていたとの事。

明治41年に石室内部の出土品が東京国立博物館に送られ、人物埴輪や・金銀製の装身具類の一部が

今でも保存されている。



第47図 横塚古墳出土遺物 挂甲小札



第55図 横塚古墳出土遺物 円筒埴輪



第74図 横塚古墳出土遺物（東京国立博物館所蔵）